

第2章 市域の概況

第1節 位置・地勢

本市は、鹿児島県の薩摩半島の南端部に位置し、東側は鹿児島湾（錦江湾）を隔てて大隅半島を望み、西及び北側は南九州市・鹿児島市に隣接し、南側は東シナ海に面しています。

東西 16.765km、南北 16.538km に広がり、面積は 148.84km²です。また、海岸線の延長は約 54.3km あります。

中央部に九州第1位の大きさを誇る池田湖（10.91km²、水深 233m）と第2位の鰻池（1.20km²、水深 56.5m）があり、それらを開間岳（別名：薩摩富士、924m）、三巢山（416.7m）、鷲尾岳（411m）、清見岳（401.9m）、烏帽子岳（362.7m）、鍋島岳（256.2m）、辻之岳（227.6m）などのトロコニーデ*型、トロイデ*型及びアスピーテ*型といった多様な形態の火山が囲んでいます。

その特殊な地形は、霧島錦江湾国立公園地域に指定されています。

一方、市街地は、主に海岸沿いに形成されており、開間岳周辺の地域では開間岳より内陸に形成されています。



第2節 沿革

歴史上初めて「いぶすき」の名前が登場するのは、平安時代、延長5年（927年）に完成した「延喜式」という古文書です。

有史以前の指宿の姿を知る手がかりは、地下の遺跡発掘にかかっており、市内では知られているだけでも120ヵ所もの遺跡が発掘されてきました。それらの遺跡から、指宿に人が住み始めたのは約3万年前であることや古代から現代に至るまで、自然と共存した先人たちの歴史が垣間見えてきます。

◆◆指宿の自然と人の歴史年表（1/2）◆◆

| 時代区分 | 年代 | 和暦 | 自然に係る主な出来事 | 人・社会に係る主な出来事 |
|---------|----------|-------|----------------------------------------|------------------------------------------|
| 旧石器 | 約10万年前 | | 長崎鼻ができる | |
| | | | 阿多カルデラができる | |
| | | | 知林ヶ島・魚見岳ができる | |
| | 5～6万年前 | | 竹山・俣川洲、辻之岳、鷺尾岳ができる | |
| | | | 清見岳など池田湖東側の山が形成 | |
| | 約3万年前 | | | 西多羅ヶ迫遺跡で狩猟採取生活が営まれる |
| | 約2万8千年前 | | 始良カルデラができる | |
| 約2万5千年前 | | | 小牧3A遺跡など小牧の台地で生活が営まれる | |
| 約1万5千年前 | | | 水迫遺跡で定住の先駆けとなる集落が営まれる（定住生活） | |
| 縄文 | 約1万年前 | | | 西多羅ヶ迫遺跡、水迫遺跡、岩本遺跡、田中遺跡などで生活が営まれる |
| | 約6500年前 | | 鬼界カルデラ噴火 | 火砕流等が海を渡って県本土を襲い、住民はほとんど全滅 |
| | 約5,700年前 | | 池田カルデラ、鰻池、成川、池底、松ヶ窪、山川湾、鏡池などが相次いで噴火 | |
| | 約3,700年前 | | 開聞岳の最初の噴火 | 大園原遺跡、南摺ヶ浜遺跡、橋牟礼川遺跡、大渡遺跡などの一部で稲作・水田が営まれる |
| 弥生 | 約2,000年前 | | 開聞岳噴火、花瀬海岸に玄武岩質の溶岩が流出 | 南丹波遺跡、橋牟礼川遺跡、横瀬遺跡、敷領遺跡などで生活が営まれる（稲作） |
| 古墳 | 7世紀後半 | | 開聞岳の噴火 | |
| | 702年 | 大宝2年 | | 倭国（後の薩摩国）が成立 |
| 奈良 | 706年 | 慶雲3年 | | 指宿神社建立（神社記録による） |
| | 708年 | 和銅1年 | | 枚聞神社建立（神社記録による） |
| | 713年 | 和銅6年 | | 朝廷と隼人の武力衝突、大隅国成立 |
| | 721年 | 養老5年 | | 隼人鎮圧される |
| | 8世紀 | | | 指宿郡成立、郡役所が置かれる |
| 平安 | 800年 | 延暦19年 | | 薩摩国に班田制が施行、大規模耕作地が設置される |
| | 874年 | 貞観16年 | 開聞岳噴火、旧指宿市街地付近まで大きな被害を受ける | 火山灰が厚く積もり、生活が困難になる |
| 鎌倉 | 1197年 | 建久8年 | | 島津忠久が薩摩・大隅両国の地頭に任命 |
| 室町 | 1363年 | 貞治2年 | | 指宿は大隅国守護となる |
| 南北朝～戦国 | 1588年 | 天正16年 | | 穎娃・山川・指宿は島津義久の直轄地となる |
| 江戸 | 1620年 | 元和6年 | 大穴山の大洪水で指宿神社等が流出 | |
| | 1705年 | 宝永2年 | | 前田利右衛門が琉球からサツマイモを持ち帰る |
| | 1830年頃 | 天保1年 | 指宿郡新田地区の干拓事業が始まり、内海が消滅 | |
| | 1857年 | 安政4年 | 池田湖の水利事業（鳥越堀切工事）開始、現在の池田湖の形状となる新川が誕生する | |
| | 1858年 | 安政5年 | | 咸臨丸が山川港入港（勝海舟と島津齊彬が会談） |
| | 1863年 | 文久3年 | | 薩英戦争勃発 |

◆◆指宿の自然と人の歴史年表（2/2）◆◆

| 時代区分 | 年代 | 和暦 | 自然に係る主な出来事 | 人・社会に係る主な出来事 |
|-------|-------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 明治 | 1868年 | 明治1年 | | 煙草の大製造工場において県下の大半の製造を担うに至る |
| | 1877年 | 明治10年 | 成川浜が埋め立てられ、火薬庫が建造される | 西南戦争勃発 |
| | 1889年 | 明治22年 | | 揖宿郡指宿村・今和泉村・山川村が発足 |
| | 1896年 | 明治29年 | | 頼娃郡が揖宿郡に編入 |
| | 1910年 | 明治43年 | | 山川でかつお節製造開始 |
| 大正 | 1918年 | 大正7年 | 池田湖・鰻池で魚の放流、人工孵化を始める | |
| | 1922年 | 大正11年 | | 温泉熱利用の製塩業が始まる |
| 昭和 | 1930年 | 昭和5年 | | 山川町が発足 |
| | 1933年 | 昭和8年 | | 指宿町が発足 |
| | 1934年 | 昭和9年 | 霧島国立公園が日本で最初の国立公園に指定 | |
| | 1948年 | 昭和23年 | | 今和泉村の一部を分離し、利永村が発足 |
| | 1950年 | 昭和25年 | | 頼娃町が発足 |
| | 1951年 | 昭和26年 | | 頼娃町の一部を分離し、開聞村が発足 |
| | 1954年 | 昭和29年 | | 指宿町と今和泉村が合併し、指宿市が発足 |
| | 1955年 | 昭和30年 | ※昭和30年代から60年代にかけて、港湾整備やかんがい事業、造林などの社会活動の活発化に伴い、池田湖の赤潮発生や鰻池のアオコ発生、温泉開発による温泉の枯渇、地盤沈下、自動車の普及等による大気汚染といった様々な公害問題が顕著化する | 利永村を分割し、山川町と開聞村に編入し、同時に開聞村が町制を施行し開聞町が発足 |
| | 1957年 | 昭和32年 | 自然公園法制定 | |
| | 1964年 | 昭和39年 | 錦江湾地域及び屋久島地域が編入され、霧島屋久国立公園の改称 | |
| | 1967年 | 昭和42年 | 公害対策基本法制定 | |
| 1973年 | 昭和48年 | 海洋汚染防止法制定 温泉開発により柴立温泉が枯渇する | | |
| 平成 | 2006年 | 平成18年 | | 指宿市・山川町・開聞町が合併して、現在の指宿市が誕生 |
| | 2008年 | 平成20年 | 第一次環境基本計画策定 | |
| | 2012年 | 平成24年 | 屋久国立公園を分離し、霧島錦江湾国立公園に改称 | |

出典：「いぶすき検定！指宿まるごと博物館ガイドブック」（指宿市商工会議所）他

現在の指宿市は、豊富な温泉の恩恵のもと世界に類を見ない「天然砂むし温泉」や霧島錦江湾国立公園に指定されている自然景観を生かした観光産業と、天然の良港である山川漁港等での水産業及び水産加工業、温暖な気候条件と温泉熱を利用した安心安全な農産物の生産に取り組むなど、「豊かな資源が織りなす食と健幸のまち」の実現に向け、歩み続けています。



魚見岳から望む指宿市街地



竹山から望む開聞岳

第3節 気候特性

本市の気候は、西海型気候区に属し、その南端部に位置しています。

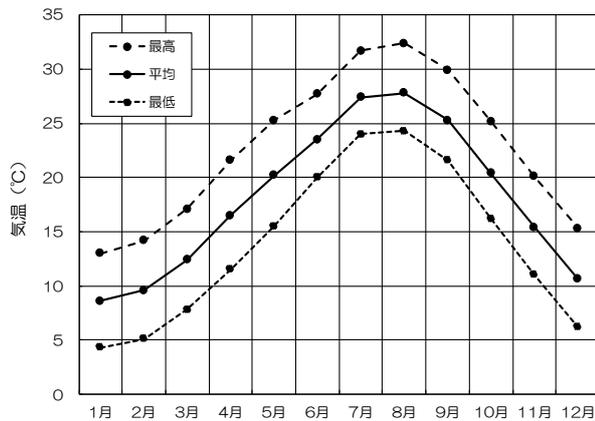
沿岸域を流れる黒潮の影響を受けて温暖多雨で、九州の典型的な気候を示すとともに亜熱帯的な特徴も有しています。

年平均気温は18.1℃、年平均降水量は2,420.1mm、年平均風速は1.6m/s、年平均日照時間は1,929.3時間となっています。

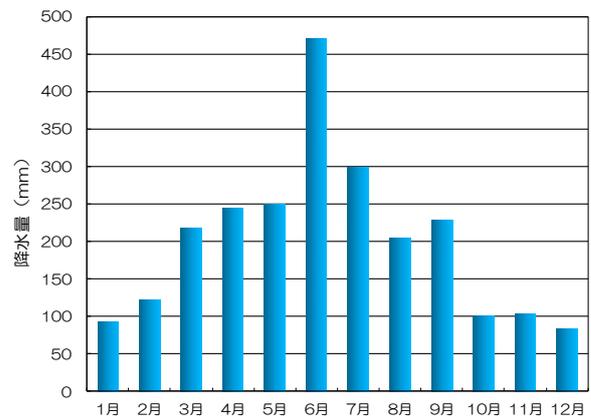
◆◆指宿市の気象の状況（平年値）◆◆

| 項目 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 年間 | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| 気温（℃） | 最高 | 13.0 | 14.2 | 17.1 | 21.6 | 25.3 | 27.7 | 31.7 | 32.4 | 29.9 | 25.2 | 20.1 | 15.3 | 22.8 |
| | 平均 | 8.6 | 9.6 | 12.4 | 16.5 | 20.2 | 23.5 | 27.4 | 27.8 | 25.3 | 20.4 | 15.4 | 10.6 | 18.1 |
| | 最低 | 4.3 | 5.1 | 7.8 | 11.5 | 15.5 | 20.0 | 24.0 | 24.3 | 21.6 | 16.2 | 11.0 | 6.2 | 13.9 |
| 降水量（mm） | 93.0 | 122.8 | 218.1 | 245.5 | 249.2 | 470.8 | 298.8 | 204.9 | 228.4 | 100.9 | 104.2 | 83.7 | 2420.1 | |
| 平均風速（m/s） | 1.7 | 1.8 | 1.7 | 1.6 | 1.4 | 1.5 | 1.6 | 1.6 | 1.4 | 1.3 | 1.4 | 1.6 | 1.6 | |
| 日照時間（h） | 122.2 | 130.6 | 145.6 | 165.3 | 169.5 | 122.8 | 197.0 | 215.7 | 184.0 | 184.1 | 151.5 | 143.3 | 1929.3 | |

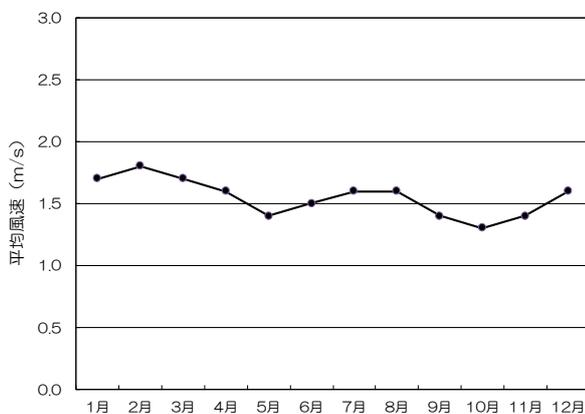
出典：「観測・統計データ 平年値（1981年～2010年）」（気象庁ホームページ）



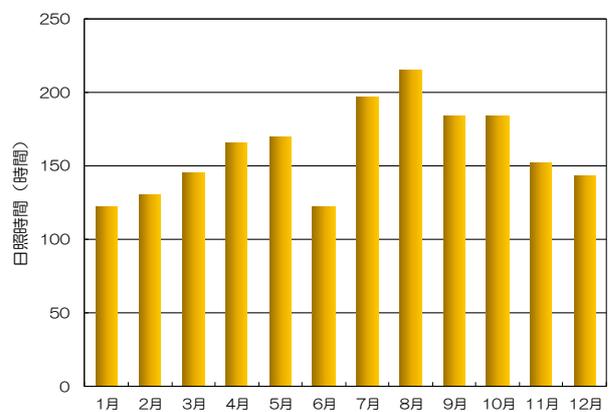
気温の月変化



降水量の月変化



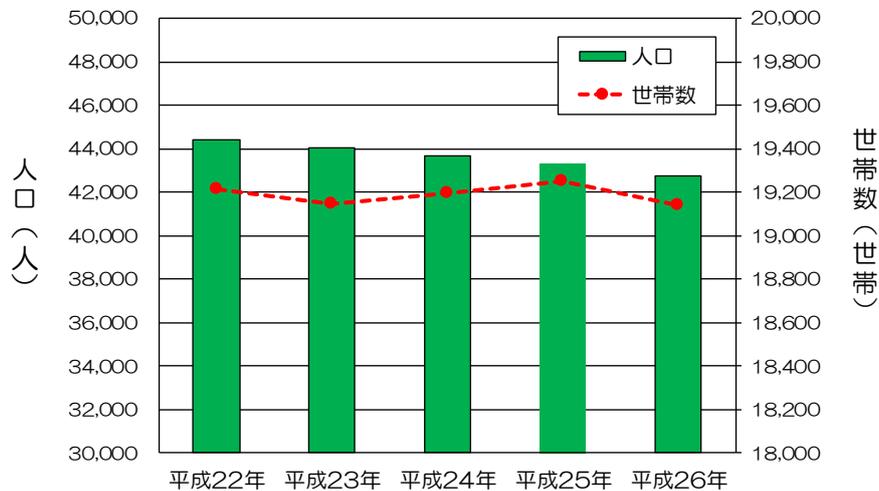
平均風速の月変化



日照時間の月変化

第4節 人口・年齢構成

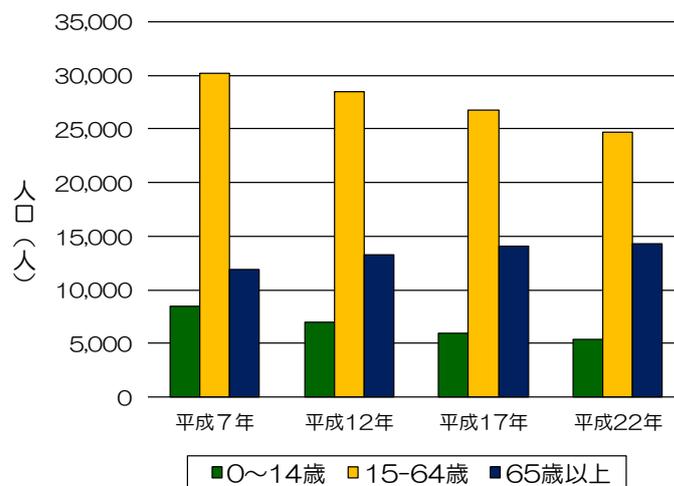
近年、本市における人口は徐々に減少しているものの、世帯数は横ばい傾向にあります。



出典：「国勢調査」（総務省）、「統計いぶすき」（指宿市）

◆◆指宿市における人口及び世帯数の変化◆◆

年齢別の人口構成をみると、14歳以下の子供や15歳から64歳の生産に寄与する世代の人口が減少傾向にあるのに対し、65歳以上の高齢者の人口が増えており、少子・高齢化の現象が顕著になってきています。また、人口減少にも関わらず、世帯数が横ばい状態にあるということから、1人暮らしの高齢者が増えていることがうかがえます。



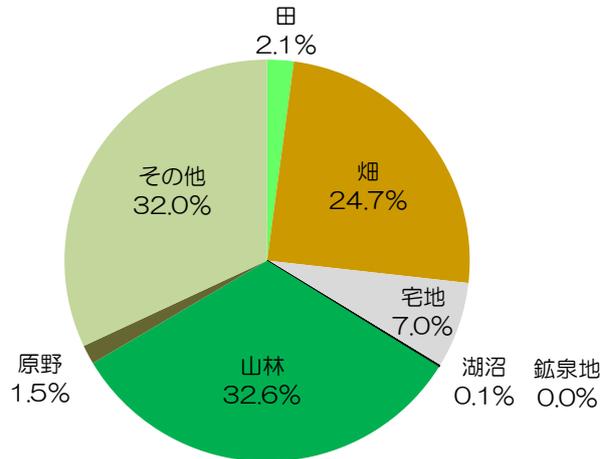
出典：「国勢調査」（総務省）、「統計いぶすき」（指宿市）

◆◆年代別人口の変化◆◆

第5節 土地利用

本市は、中央部及び西部に山地が広がり、中央部の山地で南北に分断される形で農地や宅地が広がっています。地目の割合は、山林が32.6%、田・畑が26.8%、宅地が7.0%となっており、山林や田畑の割合は市域の59.4%を占めています。

| 地目 | 面積(km ²) | 比率(%) |
|-----|----------------------|-------|
| 田 | 3.15 | 2.1 |
| 畑 | 36.71 | 24.7 |
| 宅地 | 10.39 | 7.0 |
| 鉱泉地 | 0.01 | 0.0 |
| 湖沼 | 0.15 | 0.1 |
| 山林 | 48.53 | 32.6 |
| 原野 | 2.29 | 1.5 |
| その他 | 47.61 | 32.0 |
| 計 | 148.84 | 100 |



出典：「統計いぶすき 平成 27 年度版」（指宿市）

注）測量精度の向上により平成 26 年 10 月 1 日より、市の面積は 148.84km²と修正されました。

◆◆地目別面積◆◆



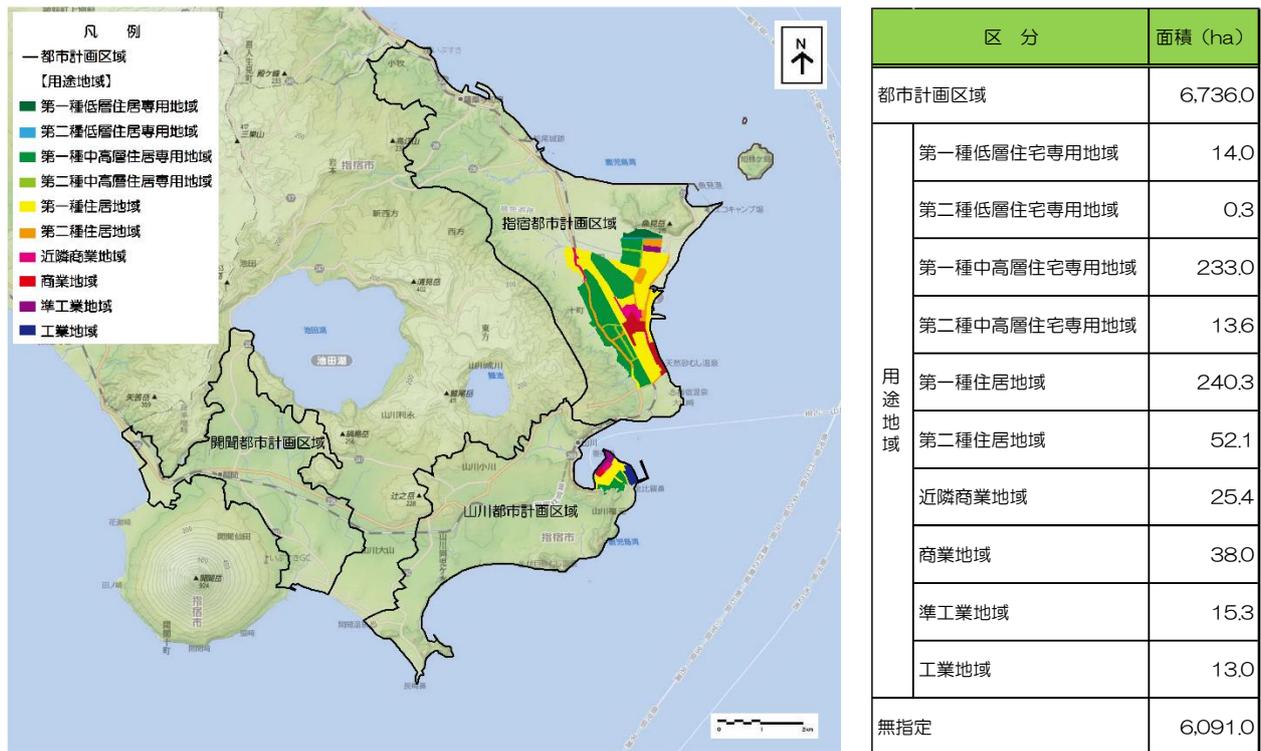
| 凡 例 | |
|-----|-------------|
| | 都市地域 |
| | その他の用途地域 |
| | 農業地域 |
| | 農業用区域 |
| | 森林地域 |
| | 国有林 |
| | 地域森林計画対象民有林 |
| | 保安林 |
| | 自然公園地域 |
| | 特別地域 |

出典：「土地利用調整総合支援ネットワークシステム」（国土交通省）

◆◆指宿市における土地利用基本計画図◆◆

第6節 都市計画

本市は、中央部の山地、池田湖及び鰻池を囲むように6,736ha(市域の45.3%)の都市計画区域*を設けており、その内、645haを用途地域*に定めています。本市には、指宿、山川、開聞の3つの都市計画区域があり、各区域では基本理念を実現するため、基本方針に基づき、まちづくりを進めています。



出典：「統計いぶすき 平成27年度版」(指宿市)、「指宿都市計画用途地域指定図」(指宿市)

◆◆都市計画区域及び用途地域◆◆

◆◆各都市計画区域の基本理念及び基本方針◆◆

| 都市計画区域 | 基本理念 | 基本方針 |
|--------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 指宿 | 世界に誇れる観光のまち 環境温泉保養都市・指宿 | ○美しいまちづくり ○海・温泉・緑の自然を感じるまちづくり ○快適で利便性の高いまちづくり ○歴史を感じるまちづくり |
| 山川 | 魅力ある山川をめざして | ○交通基盤の整備を目指したまちづくり ○居住環境の改善を目指したまちづくり ○自然資源の保護・活用を目指したまちづくり |
| 開聞 | 美しい自然、心豊かな人、 活力に満ちた生きがいの ある町“かいもん” | ○自然と調和し安心・安全な生活環境の確立を目指したまちづくり ○特性を活かした産業の自立促進と活性化を目指したまちづくり ○地方分権への対応を目指した総合的なまちづくり |

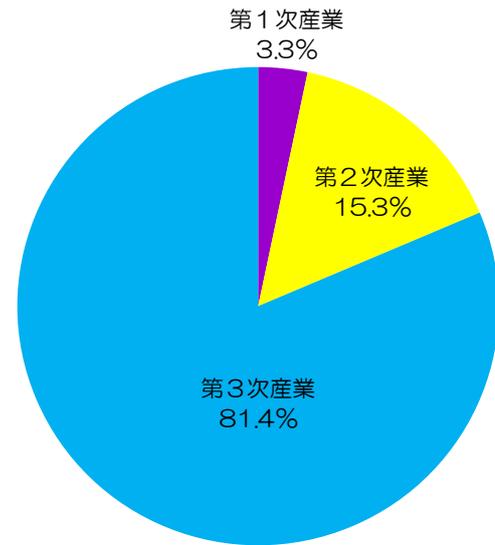
出典：「指宿都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」(鹿児島県)
 「山川都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」(鹿児島県)
 「開聞都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」(鹿児島県)

第7節 産業

1. 産業構造

平成21年経済センサスによると、本市の事業所総数は2,502事業所であり、全事業所の81.1%、全従業員数の81.4%を「卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業」を中心とする第3次産業が占めています。

| 産業別 | 業種別 | 事業所数 | 従業員数 |
|-------|-----------------|-------|--------|
| 第1次産業 | 農業、林業 | 63 | 501 |
| | 漁業 | 19 | 104 |
| 第2次産業 | 鉱業、採石業、砂利採取業 | 1 | 22 |
| | 建設業 | 230 | 1,281 |
| | 製造業 | 159 | 1,536 |
| 第3次産業 | 電気・ガス・熱供給・水道業 | 5 | 42 |
| | 情報通信業 | 10 | 61 |
| | 運輸業、郵便業 | 47 | 536 |
| | 卸売業、小売業 | 795 | 3,819 |
| | 金融業、保険業 | 37 | 274 |
| | 不動産業、物品賃貸業 | 51 | 169 |
| | 学術研究、専門・技術サービス業 | 72 | 359 |
| | 宿泊業、飲食サービス業 | 304 | 3,016 |
| | 生活関連サービス業、娯楽業 | 228 | 799 |
| | 教育、学習支援業 | 108 | 835 |
| | 医療、福祉 | 165 | 3,597 |
| | 複合サービス事業 | 35 | 373 |
| | サービス業（その他） | 142 | 586 |
| | 公務 | 31 | 641 |
| 総数 | | 2,502 | 18,551 |



産業別従業員数の割合

出典：「平成21年経済センサス-基礎調査」（総務省）

◆◆産業別事業所数及び従業員数の状況◆◆

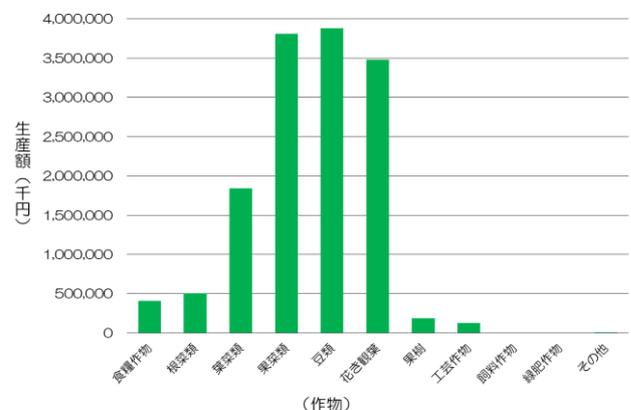
2. 農林水産業

(1) 農業

農業については、果菜類（かぼちゃ、オクラ等）、豆類（そらまめ、スナップえんどう等）、花き観葉（切花類、観葉類）の生産が中心となっており、生産額は平成26年度実績で142億4千万円となっています。



オクラ畑



出典：「統計いぶすき 平成27年度版」（指宿市）

◆◆農産物の生産額◆◆

農業就業者数は、長期的な減少傾向にあり、60才以上の高齢者が半数以上を占めています。年々、農業従業者の高齢化が進むとともに、後継者不足も大きな問題となってきています。

(2) 林業

平成 25 年度現在、市内の私有林面積は5,106haあり、そのうちの約68%が針葉樹の人工林となっています。林業関係の事業所数は右表に示すとおりです。

森林保全のため、99haで除間伐*が実施されています。

(3) 畜産業

畜産業については、家畜・家きん*飼養戸数は減少傾向にあり、平成 26 年度の生産額は約 122 億円となっています。

本市における家畜・家きんの飼育数は肉用牛が約2万6千頭、豚が約3万4千頭、卵用鶏が約3万9千羽、肉用鶏が約58万2千羽となっています。

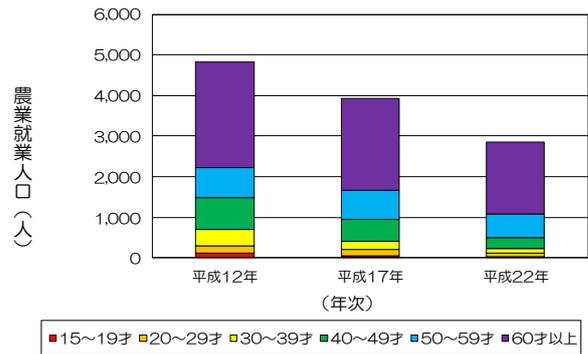
(4) 水産業

水産業については、平成 26 年度の実績は約 222 億円となっています。

主要な漁獲はかつお類であり、魚類等取扱高の68%を占めています。また、かつお節の生産額が水産業全体の生産額の51%を占めています。



山川港に入港する大型巻網漁船



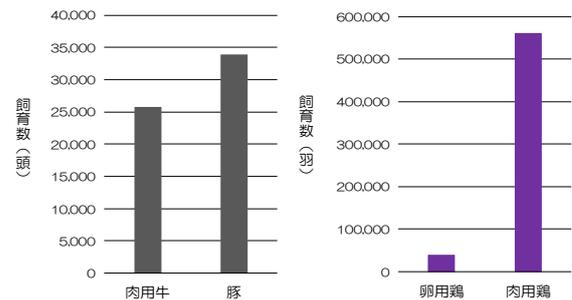
出典：「農林業センサス」（農林水産省）

◆◆農業従業人口の推移と年齢構成◆◆

◆◆林業に係る事業所数◆◆

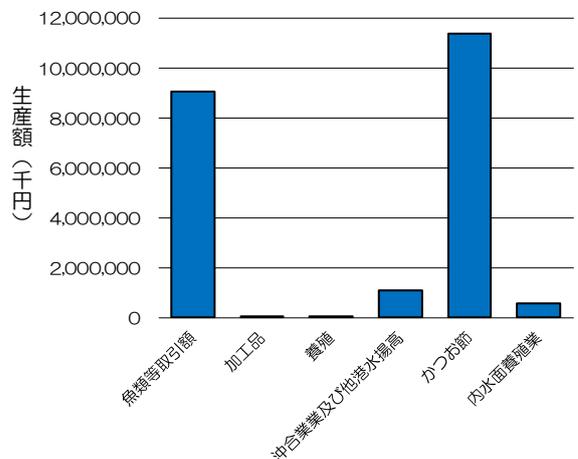
| 業種 | 事業所数 |
|---------|------|
| 素材生産事業所 | 6 |
| 木材加工工場 | 7 |

出典：「平成 26 年度森林・林業統計」（鹿児島県）



出典：指宿市農政課資料

◆◆家畜・家きん飼育頭羽数◆◆

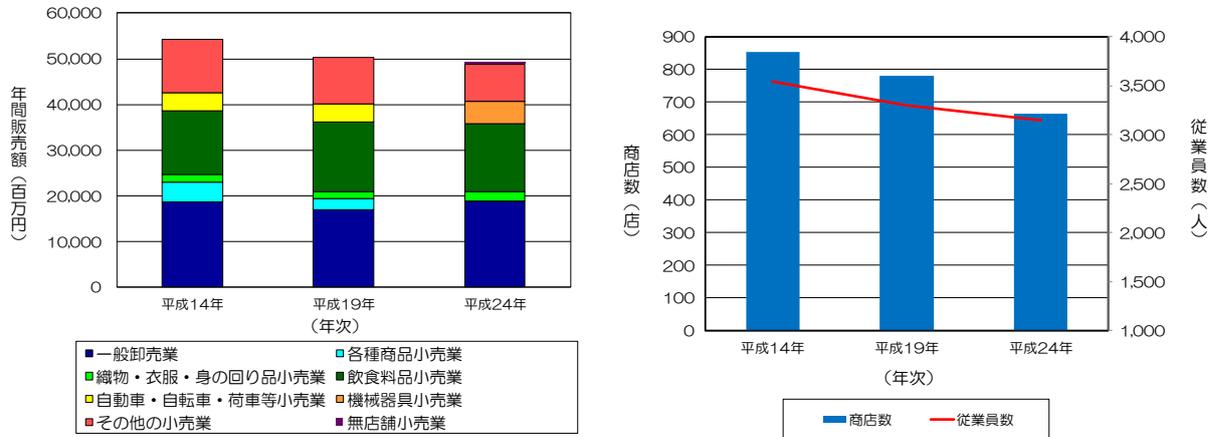


出典：指宿市商工水産課資料

◆◆水産業の生産額◆◆

3. 商業

本市の商業は、近年、商店数・従業員数ともに減少傾向が続いています。内訳は小売業が中心で、平成24年度の年間販売額は約492億2千万円となっています。



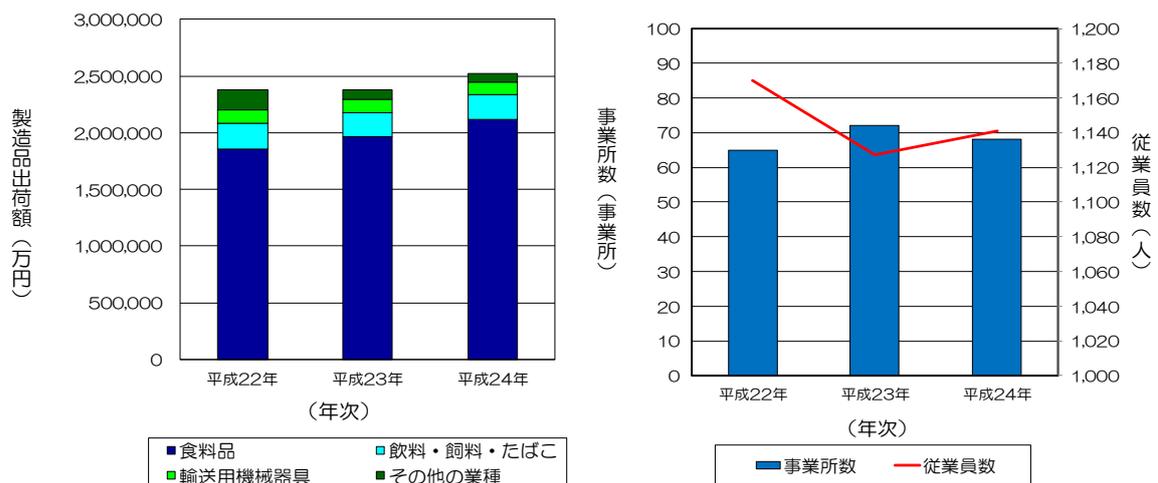
出典：「商業統計調査」（総務省）、「経済センサス-活動調査」（総務省）

◆◆年間販売額◆◆

◆◆商店数・従業員数の推移◆◆

4. 工業

本市の工業は、食料品関係が中心となっています。平成24年度の製造品出荷額は252億6千万円となっています。



出典：「工業統計調査」（経済産業省）

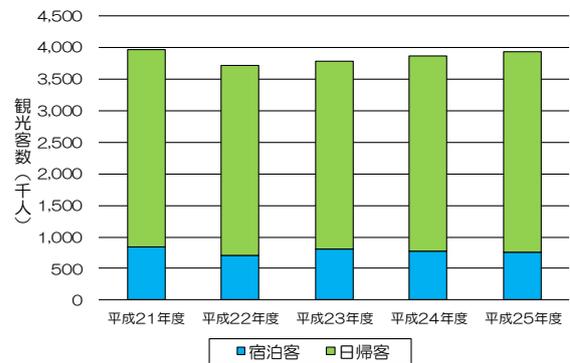
◆◆年間製造品出荷額◆◆

◆◆事業所数・従業者数の推移◆◆

第8節 観光

本市には、九州最大の大きさを誇る池田湖、薩摩富士と呼ばれる二重式火山の開聞岳、干潮時に砂州（トンボロ[※]）が現れ、陸続き（陸繋島）となる環境省の「かおり風景100選」に認定された知林ヶ島、世界に類を見ない「天然砂むし温泉」をはじめ豊富に湧出する温泉、地熱を利用した鰻池湖畔の天然かまど「スメ」など魅力ある観光資源が分布しています。これらの主要観光地に、年間約350万人以上の観光客が訪れています。また、宿泊施設は51を数え、年間約77万人が利用しています。

また、これらの山・海・湖・島嶼[※]など多様性に富んだ観光資源は、レクリエーション活動やスポーツの場を提供してくれており、多くの人々が訪れています。



出典：「統計いぶすき 平成27年度版」（指宿市）

◆◆観光客数の推移◆◆



池田湖



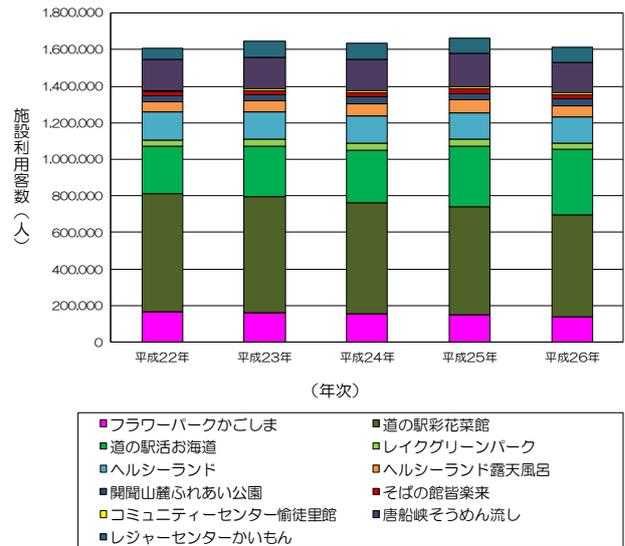
山川砂むし温泉（砂湯里）



知林ヶ島の砂州（トンボロ）

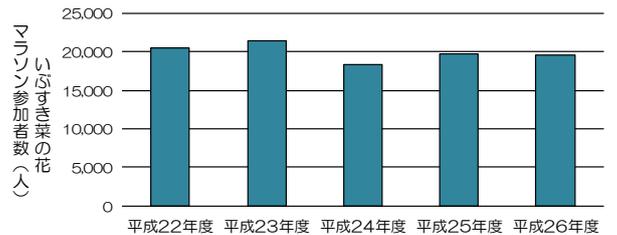
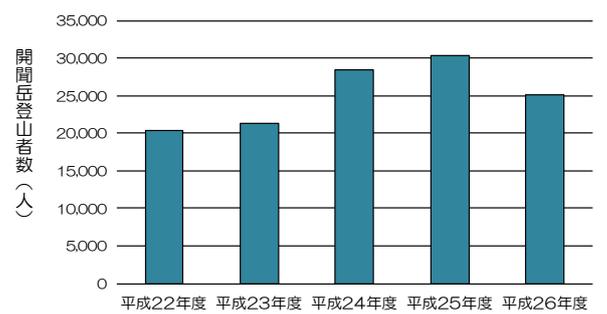
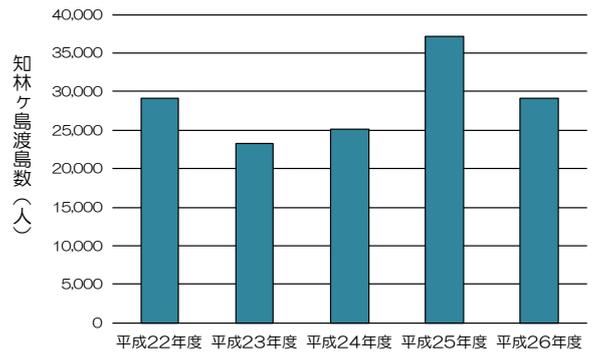


開聞岳



出典：「統計いぶすき 平成27年度版」(指宿市)

◆◆主要観光施設利用者数◆◆



出典：指宿市観光協会

いぶすき菜の花マラソン

◆◆開聞岳、知林ヶ島、池田湖に関連する観光・行事参加者数の状況◆◆

第9節 交通

本市には、県都鹿児島市と南薩地方をつなぐ交通体系の動脈であるJR指宿枕崎線が通っており、市内の各駅延乗客数は年間約161万人となっています。

国道226号の指宿市内の交通量は、約14,000台/日程度あります。また、国道226号と併せて指宿市から海上国道（山川・根占フェリー）で南大隅町を經由して宮崎市に至る国道269号の2つの広域的な幹線道路が整備されています。

市域の生活幹線道路としては、主要地方道、一般県道が国道226号、269号とつながる形で整備されています。

公共交通機関としてバス路線があり、市内循環バス（イッシーバス）の利用者数が年間約2万6千人となっています。

本市における、自動車保有台数は約3万5千台（1世帯あたりの保有台数は約1.85台）であり、市民の移動手段は、主として自家用車によるものとなっています。



◆◆主要交通網及びバス路線◆◆



JR 指宿枕崎線



イッシーバス

第10節 文化財

本市には、国指定の特別天然記念物※をはじめとする多くの指定文化財※が存在します。
また、考古博物館「時遊館COCCOはしむれ」等の文化施設があり、これらの施設を核としながら、市全域に現存する文化財等を活用し、歴史や文化への興味を促し、郷土の特色や魅力の再発見に繋げています。

◆◆市内の指定文化財一覧◆◆

| 地区 | 指定区分 | 種別 | 名称 | 所在地 | 指定年月日 |
|------------|---------------|------------------------------|-----------------|-------------------|-------------|
| 指宿地区 | 国 | 史跡 | 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡 | 指宿市十二町下里 | 大正13年12月9日 |
| | | 登録有形文化財 | 宮ヶ浜港防波堤（捍海隄） | 指宿市西方宮ヶ浜 | 平成20年4月18日 |
| | | | 丸十金物百貨店店舗 | 指宿市西方4826 | 平成20年10月23日 |
| | | | 丸十金物百貨店蔵 | 指宿市西方4826 | 平成20年10月23日 |
| | | | 中俣家住宅主屋 | 指宿市西方4674 | 平成20年10月23日 |
| | | | 坂本家住宅主屋 | 指宿市西方4681 | 平成20年10月23日 |
| | 蜷川菓子店舗兼主屋 | 指宿市西方4682 | 平成20年10月23日 | | |
| | 県 | 有形文化財 | 能面 | 指宿市東方733(揖宿神社) | 昭和36年6月10日 |
| | | 天然記念物 | 揖宿神社の社叢 | 指宿市東方733(揖宿神社) | 平成15年4月22日 |
| | | 有形文化財 | 木造阿弥陀如来立像 | 指宿市十町2768(光明禅寺) | 平成15年4月22日 |
| | 市 | 史跡 | 刻み地藏 | 指宿市池田池崎 | 昭和46年3月20日 |
| | | | 松尾城跡 | 指宿市西方6830 | 昭和46年3月20日 |
| | | | 殿様湯跡 | 指宿市西方1408 | 昭和46年3月20日 |
| | | | 湯権現 | 指宿市西方1408 | 昭和46年3月20日 |
| | | | 今和泉島津家墓地 | 指宿市岩本麓 | 昭和57年11月16日 |
| | | | 第八代浜崎太平次正房墓 | 指宿市湊2丁目4-1他 | 平成14年10月7日 |
| | | | 弥次ヶ湯古墳 | 指宿市十町97-1他 | 平成16年3月15日 |
| | | | 水迫遺跡 | 指宿市西方5529他 | 平成17年3月3日 |
| | | 天然記念物 | おおうなぎ群せい地 | 指宿市池田(池田湖) | 昭和44年11月3日 |
| | | | 宮ヶ浜のアコウ | 指宿市西方4808 | 平成22年1月6日 |
| | | 無形民俗文化財 | 猿の子踊 | 指宿市池田下門 | 昭和48年5月1日 |
| | | 有形文化財 | 湊川橋 | 指宿市西方宮ヶ浜 | 昭和46年3月20日 |
| | | | 板碑(湯豊宿) | 指宿市十町2768(揖宿光明禅寺) | 昭和46年3月20日 |
| | | | 木造千手観音坐像 | 指宿市十二町2549 | 昭和47年2月1日 |
| | 島津斉彬公堀井碑新旧二基 | | 指宿市東方7353(揖宿神社) | 昭和47年2月1日 | |
| | 揖宿神社本殿・舞殿・勅使殿 | | 指宿市東方733 | 平成4年3月2日 | |
| | 今和泉島津家伝来の手水鉢 | | 指宿市岩本2743 | 平成6年3月2日 | |
| | 有形民俗文化財 | 上西園のモイドンなど民俗神 | 指宿市東方2310-1 | 昭和51年3月18日 | |
| | | 吉永のモイヤマ | 指宿市池田4621 | 昭和51年3月18日 | |
| | | 揖宿神社前田/神依代椋ノ木 | 指宿市東方7730 | 昭和51年3月18日 | |
| | | 方柱板碑を中心とする民俗神群 | 指宿市新西方455 | 平成元年7月10日 | |
| | 有形文化財 | 方柱四方梵字 | 指宿市十二町2473-1 | 平成元年7月10日 | |
| | | 長勝院址石造物(快伝銘五輪塔・方柱板碑・石造如来形坐像) | 指宿市西方宮ヶ浜 | 昭和57年7月6日 | |
| 久保庵上の方柱板碑 | | 指宿市西方8208 | 平成元年7月10日 | | |
| 菅山の方柱板碑 | | 指宿市池田4391 | 平成元年7月10日 | | |
| 木造観音立像三体 | | 指宿市西方久保 | 昭和57年7月6日 | | |
| 指宿文書20点 | | 宮崎市高岡町 | 平成21年3月13日 | | |
| 豊玉媛神社等棟札8点 | | 岩本2845(豊玉媛神社内) | 平成23年5月11日 | | |

| 地区 | 指定区分 | 種別 | 名称 | 所在地 | 指定年月日 |
|------------|---------|----------|------------------|----------------|-------------|
| 山川地区 | 国 | 特別天然記念物 | ソテツ自生地 | 山川福元区 | 昭和27年3月29日 |
| | 県 | 天然記念物・史跡 | 山川薬園跡及びリュウガン | 山川新生町35 | 昭和29年3月15日 |
| | 市 | 有形文化財 | 鱧地蔵板碑 | 山川鱧地藏坂 | 昭和50年1月24日 |
| | | | 小川六地藏幢 | 山川小川 | 昭和49年7月16日 |
| | | | 正龍寺宝珠付角柱石塔婆 | 山川福元5780 | 昭和49年7月16日 |
| | | | 成川板碑 | 山川成川井手方 | 昭和49年7月16日 |
| | | | 旧正龍寺跡墓石群 | 山川福元5780 | 昭和56年10月6日 |
| | | | 地頭仮屋跡石塀 | 山川新生町84 | 昭和56年10月6日 |
| | | | 成川十一面観音座像及び石殿 | 山川成川大坪 | 昭和60年10月24日 |
| | | | 前田利右衛門墓石 | 山川岡児ヶ水 | 昭和60年10月24日 |
| | | | 河野寛兵衛家墓石群 | 山川福元5780 | 平成8年1月4日 |
| | | | 桜井神社木像銘文 | 山川大山3339 | 平成8年1月4日 |
| | 有形民俗文化財 | 田の神石像 | 山川成川下原 | 昭和56年10月6日 | |
| | | 利永の力石 | 山川利永468 | 平成8年1月4日 | |
| | | 尾下の田芋田 | 山川利永 | 平成14年1月28日 | |
| | 無形民俗文化財 | 成川南方神社神舞 | 山川成川（南方神社） | 平成4年4月15日 | |
| | | 利永琉球傘踊 | 山川利永 | 平成4年4月15日 | |
| 浜児ヶ水のサンコンメ | | 山川浜児ヶ水 | 平成14年1月28日 | | |
| 開聞地区 | 国 | 有形文化財 | 松梅蒔絵櫛笄等附属品並目録共一合 | 開聞十町1366(枚聞神社) | 昭和2年4月25日 |
| | 県 | 有形文化財 | 枚聞神社本殿 | 開聞十町1366(枚聞神社) | 平成2年3月23日 |
| | | 天然記念物 | 縄状玄武岩 | 開聞脇浦花瀬崎 | 昭和29年5月24日 |
| | 市 | 史跡 | 瑞心院跡 | 開聞十町1406-1 | 昭和53年9月11日 |
| | | | 入野原石塔群 | 開聞十町4754-16 | 平成4年6月3日 |
| | | 有形文化財 | 天の岩屋供養塔群 | 開聞仙田6542 | 昭和53年9月11日 |
| | | | 松原田観音寺跡石塔群 | 開聞十町1188 | 昭和61年2月27日 |
| | | | 瑞心院中興開山舜請の墓 | 開聞十町1359-3 | 昭和53年9月11日 |
| | | | 上野神社周辺供養塔群 | 開聞上野1963他 | 昭和47年2月16日 |
| | | | 上仙田東屋敷供養塔群 | 開聞仙田1791-3 | 平成元年10月24日 |
| | | | モクヨ六地藏塔(仙田室屋) | 開聞仙田1444 | 昭和53年9月11日 |
| | | | 興玉神社(九玉大明神)の棟札 | 開聞仙田 | 昭和58年1月13日 |
| | | | 頼宋塚 | 開聞十町2519-4 | 昭和53年9月11日 |
| | | | 九郎塚 | 開聞十町2772 | 昭和53年9月11日 |
| | | | 枚聞神社琉球扁額了点 | 開聞十町1366(枚聞神社) | 平成22年1月6日 |

出典：「指宿市の指定文化財等一覧（指宿・山川・開聞）」（指宿市）



国指定特別天然記念物 ソテツ自生地



指宿市考古博物館「時遊館 COCCO はしむれ」

